

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成30年度採択）

中間評価（案）（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
30-4	QOLに基づく道路事業評価手法の開発とSDGsへの貢献評価	中部大学 教授 林 良嗣	B
<p><研究の概要></p> <p>従来の経済効率性に基づく費用便益分析を超え、働く世代、高齢者、若者等の買物、通院、観光を含む多様な価値観に基づいた Quality of Life (QOL)の視点に立った道路事業評価手法を構築するとともに、道路事業による国連 Sustainable Development Goals (SDGs)への貢献度を包括的に評価する枠組みを開発する。</p> <p><中間評価結果></p> <p>道路事業とQOLの関係性の整理や価値観データベースの整備に向けたアンケート調査を進め成果をあげている。しかし、研究成果を道路事業評価へどう組み入れていくのかが明確でないなど課題がみられることから、指摘事項に留意しながら現行のとおり推進することが妥当であると評価する。</p> <p><今後の研究計画・方法への指摘事項></p> <ol style="list-style-type: none">1. 道路事業評価に QOL や SDGs を具体的かつ定量的に組み込むプロセスの開発に集中して研究を進めていただきたい。このために必要であれば、研究計画を修正いただきたい。2. 「自動運転時代における道路の環境評価」の位置づけや本研究での役割が明確でない。研究遂行の中で必ずしも必要ではないと考えられるため、研究計画を再検討いただきたい。			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第36回新道路技術会議において審議したものである。